産業観光ワーキンググループ活動報告

発見！体験！感動！神戸港産業観光ツアー　～みなと神戸の「いろんな顔」体験シリーズ～

実　施　報　告

１．経緯

平成２２年８月に開催した「ＹＯＫＯＳＯみなとまち神戸コンソーシアム」総会において、今後コンソーシアムとして「みなとまち神戸の観光資源を活用した産業観光の振興」に向けて取り組んでいくことが確認された。これを受け、同年９月に「産業観光WG」を設置、「みなとまち神戸の事業者・団体が連携し、産業観光コンテンツを中心とした着地型旅行商品の造成に取り組んでいくための仕組みを構築する」ことを目標に掲げて活動を開始した。

産業観光WGでは、みなとまち神戸における産業観光をテーマにした旅行商品づくりの可能性や課題について検証するため、以下の通りモニターツアーを実施することとなった。

２．ツアーのテーマ・コンセプト

発見！体験！感動！神戸港産業観光ツアー
～みなと神戸の「いろんな顔」体験シリーズ～

神戸港エリアは、都市近郊に造船業や鉄鋼業等の重厚長大型産業や食品関連産業、物流港湾関係産業、運輸産業といった様々な産業が集積している点で特徴的であり、本ツアーではこうした日本有数の「一大産業都市としてのみなとまち神戸」を知っていただくことをコンセプトとして構成を検討した。

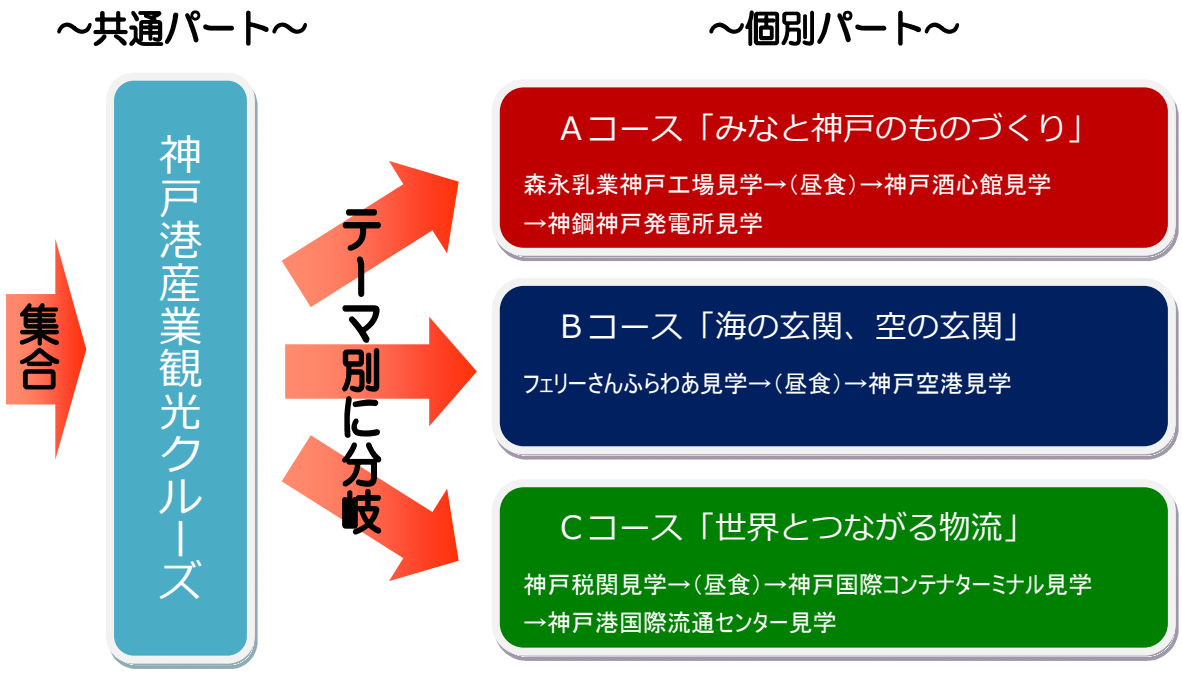
また今後、産業観光ツアーに止まらず、歴史・伝統、文化、景観や街並みといった、神戸港の様々な側面を魅力をテーマとしたツアーを実施し、みなとまち神戸ブランドを発信していくことが必要であることから、様々なテーマのツアーをシリーズ化して実施できるよう、シリーズ名称を付加した。

３．ツアーの構成

神戸港エリアの産業全般に関わる「共通パート」と、特定の小テーマに沿った業種の施設等を見学する「個別パート」（３コースに分岐）に分かれている。

参加者は、共通パートの「神戸港産業観光クルーズ」に全員で参加した後、個別パートの３コース（参加申込時に１つを選択）にそれぞれ分かれて参加する。（各コースに貸切バス１台を配備）

構成イメージ



４．催行日程及び募集期間、参加料金

催行日程：平成２３年２月１６日（水）

募集期間：平成２３年１月２１日（金）～２月１５日（火）（定員に達し次第締め切り）

参加料金：4,500 円（観光庁のニューツーリズム関係調査事業による支援を受けている）

５．募集定員及び参加実績

募集定員：１３２名

参加実績：１２５名

個別パート各コースの内訳（申込時に選択）

Ａコース：定員４４・実績４３（当日１名キャンセル）

Ｂコース：定員４４・実績４４

Ｃコース：定員４４・実績３８

６．各パート、コンテンツの実施内容

＜共通パート＞

①神戸港産業観光クルーズ

神戸港産業観光ツアーのオープニングプログラムとして、神戸港内を遊覧船「ファンタジー」（早駒運輸）でクルーズし、一大産業都市・みなとまち神戸が有する様々な産業の分布やその営み、歴史、神戸港の豆知識などをガイド。また同日に三菱重工業㈱神戸造船所で行われた自動車運搬船（約 60,400GT、約 5,200 台積み）の進水式をクルーズ船上から見学。

ガイドについては、(社)神戸港振興協会・森田振興部長の監修の元、神戸シーバス（早駒運輸）がシナリオを作成し、ガイド役も「ファンタジー」船長が務めた。神戸港の産業をガイドするという点では初めての試み。

日頃見ることのできない自動車運搬船の進水式をはじめ、まるでキリンの群れのようなコンテナターミナルのガントリークレーン、立ち並ぶ倉庫群、中古車・中古建機などのオークション会場など、普段陸上からは見ることのできない光景を見ることができ、参加客からは「海から見ると新しい発見がある」「知らない仕事がいっぱい」など好評をいただいた。

＜個別パート＞

Ａコース：「みなと神戸のものづくり」

②森永乳業神戸工場　工場見学、ヨーグルト試食、チーズ作り体験等

摩耶埠頭で乳製品を製造を営む森永乳業神戸工場を訪問。同工場で製造されているヨーグルトの試食や生産ラインの見学、チーズの手作り体験等を実施。

日頃なじみ深いヨーグルトやカフェラテなどの乳製品が高度なオートメーション設備で製造される様子を見学することができたほか、牛乳とお酢で手軽にできるチーズ作り等、「これまであまり知らなかった体験ができた」と参加客からも好評だった。

③神戸酒心館　酒蔵見学、きき酒体験

灘の清酒「福寿」の醸造元である神戸酒心館を訪問。酒蔵では「箱麹造」と呼ばれる完全手作業による麹づくりの行程などを社長自らのガイドとともに間近に見学できたほか、日本酒のきき酒体験、蔵の直売所での買い物タイム等を楽しむことができた。

④神戸製鋼所　神鋼神戸発電所見学

神戸製鋼グループが東部第１工区の製鉄所の隣地で運営している神鋼神戸発電所を訪問。神戸市のピーク時の電力需要の約７０％をまかなうことのできる石炭火力発電プラントを見学しました。

神戸市の都市部に発電所があること自体知らなかった参加客が多く、その発電能力や周辺地区への安全面・環境面の対策状況などの説明を受け、驚きの声が上がっていた。

Ｂコース：「海の玄関、空の玄関」

⑤フェリー「さんふらわあ」船内見学

中・大型フェリーが多く出入りしているみなとまち神戸の「海の玄関」、六甲フェリーターミナルを訪問。神戸港と九州・大分港を結ぶフェリー「さんふらわあぱーる」の船内を見学。

客室やレストラン、車両甲板など乗客として利用する設備のほか、船員が勤務する船橋区画にも立ち入って現役の航海士からガイドを受けることができ、参加客からは「これまで持っていたフェリーのイメージよりずっときれい」「九州まで船旅をしてみたくなった」など好評で、フェリーの宣伝としても効果が高いものとなった。

⑥神戸空港バックヤード見学

神戸ポートアイランド沖南の人工島に開設されたみなとまち神戸の「空の玄関」、神戸空港を訪問。天皇・皇后両陛下も利用した「貴賓室」や滑走路、バックヤードの荷捌き場、空港内消防署等を見学。

滑走路では、バスで外周を回ってレーダー各種灯火設備の説明を受け、また飛行機の離発着を間近で見学することができた。空港敷地内の消防署では一般道では見かけることのない大型特殊消防車両に実際に乗ることができ、子供だけでなく大人の参加客も興奮しながら参加しておられ、好評であった。

Ｃコース：「世界につながる物流」

⑦神戸税関見学（モニターツアー申請後に追加）

神戸港における貨物の輸出入について通関手続きや検査、不正の取締りを行っている神戸税関を訪問。様々な不正輸出入貨物の実物やサンプルを手に取るなどして税関業務の一端を体験したほか、歴史のある神戸税関本庁舎の一部を見学。

麻薬の密輸の手口や隠し場所など、実際に使用されたものを使って、取締りの実務経験もあるガイドから説得力のある解説を受けることができた。また昭和２年に竣工し、船を模した形状に改築された、伝統とユニークさを兼ね備えた庁舎の美しさに参加客も感心されていた。

⑧神戸国際コンテナターミナル見学

商船三井がポートアイランド２期で運営している神戸国際コンテナターミナルを訪問。神戸港でも有数の大規模コンテナターミナルの業務内容を学習し、管理棟屋上からガントリークレーンやトランスファークレーン等による荷役の様子を見学。

ガントリークレーンやトランスファークレーンによる荷役はゆっくりとしていながらとてもスケールが大きく、巨大なクレーンがゆっくり方向転換をする様子などに感心が寄せられた。

⑨神戸港国際物流センター（Ｋ－ＤＩＣ）見学

神戸港有数の高機能物流拠点である神戸港国際物流センター（Ｋ－ＤＩＣ）を訪問。輸入貨物を中心に扱う本施設の働きについて学習し、施設内の冷凍倉庫を見学、－３５℃の超低温の職場環境を体験。

－３５℃の冷凍倉庫はとても寒く長居はできなかったが、この寒さでも「こんにちは！」と元気よくあいさつしてくれる従業員の姿に参加客も元気に挨拶を返していた。